

英語を読む力を鍛えよう ～WPM100を目指して～

これから5月1日（金）まで平日に1回（朝9時までには更新予定）“じゃれマガ”（浜島書店）をアップします。この“じゃれマガ”は名古屋の大学の非常勤講師で藤前千瀧の活動家の Douglas S. Jarrell さんが毎日配信して下さるメルマガです（メルマガ登録はコチラ → <http://catchawave.jp/jm/>）。問題集の英文とは違う旬な話題になっています。毎日100語程度の英文を読む好機になればと願っています。語彙や文法は中学校卒業程度です。

読み方は自由です。一番やってくれるといいなと願うのは「0」です。

0：一読してみる（とにかく読んでみる）

1：大意に関する質問に答える（ざっくり読む）

2：一文一文に対する質問に答える（少し丁寧に読む）



読んだ後は、こんな学習方法があります。

3：文法や語彙を練習する

→ 「英作文が苦手だ」「どの順番で書けばよいのか分からない」という人は、単語・熟語レベルで練習せず、「音読筆写」という方法で、1文まるごと練習してみませんか。音読筆写の仕方は後ほど。

4：3の表現を「自分のことに」置き換えて書く

5：読後の感想を英語で書いてみる



【音読筆写の仕方】

① 身につけたい表現が含まれる英文を10回音読

② ①の英文を言いながら10回書きます。Iと言いながらIを書き、wentと言いながらwentを書きます。言っている単語（音）と書いている単語（文字）を一致させることが大切です。

③ ①の英文を見ずに「3回暗唱」します。



もう少しこだわりたい人は「速読」に挑戦しましょう。日本語を母語とする人は「1分間に100語（**W**ords **P**er **M**inute）」読めればたいしたものと言われています。ちなみにアメリカの高校生の平均は1分間に180語だそうです。「1」の大意に関する答えを導き出すのにかかる時間（何秒かかったか）を測定します。

$$\boxed{\text{あなたの読む速度}} = \boxed{\text{語数}} \div \boxed{\text{音読秒数}} \times \boxed{60}$$

それでは、本日（20日）から配信します。Give it a try!